



## 子ども家庭支援論【児教】(2021/後)

## プレビュー

第15回目課題(オンライン入力レポート)	
課題に関する説明	<p>以下の設問にオンライン(直接)入力で答えてください(字数の制限はありません)。</p> <p>【課題のねらい】 今回の課題は2019年度に実施した「一日パパママ体験事業」から出題します。 本事業は兵庫県と神戸新聞社がタッグを組んだ子育て支援事業で、実際に神戸常盤大学の学生が参加しました。 今年度も実施する予定で、本当はぜひみなさんにも体験してもらいたい事業だったのですが、残念ながら昨今の状況で叶わずに終わってしまいました。 そこで、今回はみなさんに「こんな取り組みがあるんだ!」と本事業を知っていただけますと幸いです。</p> <p>【課題の流れ】 以下の流れに沿って課題に取り組んでください。</p> <p>①指定テキスト第6章を読んで、地域子育て支援の実情を把握してください。</p> <p>②以下のURLにアクセスし、「事業紹介」動画を視聴してください。 <a href="https://youtu.be/cGbm8_nMiC4">https://youtu.be/cGbm8_nMiC4</a></p> <p>③添付ファイルの新聞記事を読み、以下のURLにアクセスし「座談会」動画を視聴してください。 <a href="https://www.kobe-np.co.jp/rentoku/movie/new/202003/0013174767.shtml">https://www.kobe-np.co.jp/rentoku/movie/new/202003/0013174767.shtml</a></p> <p>④②③を踏まえて、本事業についての感想を述べてください。</p>
受付開始日時	2022-02-02 09:00
受付終了日時	2022-02-09 09:00
受付終了後の提出	許可する ( 8099-12-31 23:59 )
ポートフォリオ / 閲覧設定	ポートフォリオに追加 / 提出者本人と教員のみ閲覧・コメント可
学生による再提出の許可	再提出を許可する
添付ファイル	<p>15. 補足資料 (2019一日パパママ体験座談会新聞記事) .pdf - 2022-01-27 11:27:28</p>

閉じる

[レポート一覧へ戻る](#)

【子ども家庭支援論】2021年度課題レポート

1	<p>④一日パパママ体験事業は、実際に子育てをしている人のお話を直接聞くことが出来るので、大学生にとってとても貴重な経験になると感じました。体験をした大学生のアンケートで子育てに対する考えが肯定的になっていることが分かり、少子高齢化が進む日本の社会にとって良い取り組みだと思いました。将来子どもと関わる仕事を目指す学生として、この活動を広めて沢山のの人に体験してほしいと思いました。</p>
2	<p>④②③の動画を視聴して、実際に子どもがいる家庭に訪問して子育てを体験するというのはめったにできないことだと思うし、幼稚園や保育園など実習とはまた違ったこととの関わり方もあると思うのでとても良いなと感じました。兄弟で年齢の違う子どもと一緒に関わることもなかなかないと思うしどのような遊びをすれば楽しんでくれるかなども考えるととてもいい時間だなと感じました。実際に子どもと関わるだけではなくてパパやママがどのように関わっているかなども見ることが出来るし育児を協力している姿も見ることが出来ると思うので良いと思いました。今はなかなか関わることは少ないかもしれないけれどパパママ体験をすることによって自分が今思っている考えが少し変わったり、さらに知らないことが知ることが出来ると思うのでこのような活動がもっと増えれば良いなと思いました。</p>
3	<p>この事業を取り組む事で、学生の私たちが漠然とした結婚生活であったり子育てなどをより想像しやすくなったり、不安が少し無くなるということが分かりました。 また、間近で親や子どもを見ることによって、授業では学ぶことのできない発見や感じ方を学ぶことが出来る。 この事業は、私たち学生が行く側以外にも受け入れてくれる家庭にも良い刺激を受けたりしてお互い良い経験ができると思いました。 私もこの事業に参加して見たいなと思いました。</p>
4	<p>ママやパパの体験をすることが出来るこの事業はとてもいいと感じました。家庭で子どもと関わる人が無い人はほとんどいないと思います。そのため子育てに対して不安を感じている人が多いです。実際に体験をしてみると子育てに対する不安が少なくなったり印象も変わっていました。参加する人のほとんどが児童教育に興味のある人だとは思いますが、いろいろな人が参加できればいいなと思いました。特に男性が参加することで父親になって子育てするときの参考になるのではないかと思います。</p>
5	<p>④このような取り組みがあることを初めて知り、子育てにあまり良い印象がない人でも体験してみるといろいろな良さに気づくことができ、子育ての楽しさを知れて将来のことに前向きになれる体験をできる機会があることは良いと思いました。子育ての大変さや楽しさを実際に経験しているお母さんやお父さんから聞くことで本音が聞けるので、これからは自分が親になった時に役に立つことがあると思いました。いろいろな家庭に訪問させてもらえると、さまざまな家庭の子育て事情が知れるのでいい体験だと思いました。</p>
6	<p>このような事業があることは全く知りませんでした。保育所や、幼稚園に実習に行ったり、バイトに行くことはあっても家庭での様子を見させていただくことなんてないと思うので貴重な経験になるんだろうなと思いました。1日だけであると、どうしても見えてこない部分もあると思うのですが、それでも体験するのとしらないのでは全然違うのんだろうなと思います。保育者になるための勉強もあるとは思いますが、将来家庭をもつための勉強という意味合いが強くありそうだなと思いました。実際にこのような事業に参加することで今までのイメージとは違うものがわかったりすると動画の中でも言っていたので、子育ては大変だ、といったようなイメージが先走りしてしまっている場合にはとても有効な活動だと思いました。</p>

7	<p>①女性の社会進出、核家族化が進んでいる。その為、地域の子育て支援が増えてきている。大学生による子育て家庭訪問など将来子育てに対し不安を取り除く取り組みがある。</p> <p>②大学生、お母さん、赤ちゃんみんながとても幸せそうだなと思いました。子育てがとても楽しみになる素晴らしい取り組みだと思いました。お母さんと中々話す機会がないので家でのお子さんの様子を聞けるのはとてもいいなと思いました。是非、参加してみたいと思いました。</p> <p>③実際の体験談を聞く事が出来て良かったです。お母さんがとても楽しそうに大学生が子育てに対し前向きになれたと言う意見が印象的でした。中々、子育ての実態を聞く事が出来ないのではとても良かったです。</p> <p>④このような取り組みがあるのを知ることが出来て本当に良かったです。このような状況下でなければ参加したかったなと思いました。是非、お母さんになった時も利用してみたいと思いました。この取り組みを知ることによって、子育てに対し不安を抱えるお母さんが少しでも減るのではないかなと思いました。</p>
8	<p>実習や大学の取り組みなどで保育所で子どもと関わったり、子育て支援の広場で親子と関わったりすることはあってもこの一日パパママ体験のように実際の家庭に入るという体験はなかなかないので新鮮だと感じました。また、私はこの名前だけ聞いた際に保育者として子育て支援に必要な知識を身に付けるためだと思いましたが、実際に体験した方のインタビューを聞くと自分が結婚して子育てをするイメージがつかないとおっしゃっていて「子育て」のイメージを持つことができる体験なんだとイメージが変わりました。</p> <p>この体験で、家庭でしか見られない子ども達の様子を見れ、保護者の方からお話を聞くこともできて、一人の女性としてそして保育者になる立場としてとても貴重で良い経験だなと感じました。</p>
9	<p>保育や子どもについて学んでいる私たちは将来こんな母親になりたいと言うイメージがあって、自分は保育者だから子育ても余裕でできると思っている人が多いと思いますが、実際に子育てをしてみるとあれ？違うと思ってしまうことが多いと思いました。そんな経験を学生のうちにできることがいいなと思いました。私も4歳児(年少さん)の従姉妹がいて産まれた時からお世話をしたり、叔母が海外で試合がある時は従姉妹と祖父母と一緒に過ごしたりして1週間パパママ体験したことがありますがとても大変でした。基本私は一緒に公園で遊んだり排泄補助、食事のお手伝い、お着替えなど身の回りのことだけでしたがそれプラス家事もするってなると子ども1人でも辛いのに子どもが多いほど大変なんだなと思いました。</p>
10	<p>このような事業があるのは知りませんでした。子育ての大変さを知ることができ、子どもと関わることが少ない私たちにとってとてもいい取り組みだと思いました。将来像について考えるきっかけにもなり実際の家庭を訪問することで本当の子育てについて体験ができとてもいい経験になると思いました。子どものことを考えながら子育てをしている親の大変さや楽しさを実感したりお話しも聞くことができ子育てに対する知識を得ることができいいなと思いました。</p>
11	<p>一日パパママ体験事業のことは今まで知らなかったけど、体験した学生のお話を聞いて、実際に子育てをしている家庭を訪問して、子どもと過ごすだけでなく、パパ・ママの話も聞けるのはとても勉強になると感じました。また、子育てについてだけでなく、結婚ということについても考えられる体験で良いと思いました。</p>
12	<p>すごく学生からしたらありがたい事業なのではないかなと感じました。保育所実習や幼稚園実習などでは体験できないことを体験したりすることができるのではないかなということや動画などを見て感じる事が出来ました。実際の家庭で保育を体験すると言うことは普段ないことであり、保育所や幼稚園などに就職した時にそういう経験が生かされていくのではないかなということを感じることが出来ました。実際に体験した人の感想や意見実際に体験している姿などを見てみると、楽しかったんだということやためになったのかなということを感じることが出来ました。</p>

13	④子育ての経験を実際の家庭で体験することが出来ることは、将来子育てをするのであれば、とても良い経験になると思います。また、保育者としても保護者がどんな思いや苦勞をしているのかを知ることが出来、保育者としての仕事に活かすことができるなと思いました。
14	実習とは違って、園での子どもたちの様子ではなく家庭での子どもたちの様子を知ることが出来る貴重な良い機会だと思った。保育者は家庭の中まで深くかかわることは難しいと思う。そんな中で将来保育者になろうとしている学生が就職する前に、家庭での子育ての状況や将来自分自身が母親になった時のことを知ったり考えられたりするのなかなか体験できないし、いざ就職してからも子育てをしたことが無いからと悩んだりせずに、活かせることが出来るのではないかと思う。
15	子育てを1日体験することで将来のイメージが持ちやすくなったり、子育てをする親の気持ちを少し理解する事もできると感じた。子育ての体験が全くなく親になった時に、とても大変だと感じたりどうしたらいいのかわからないということがあったとしても、体験があればイメージを持って子育てを出来るの感じた。また、自分の経験として体験できるだけでなく、周りの人が困った時にも役立てる体験だと思った。
16	実際に子育てを行う中で、楽しいことや大変な事をそのまま聞ける体験は中々ないため、とても勉強になる事業だと感じました。年齢が離れている子どもの家庭では、一緒に遊ぶのも難しくおもちゃ選びも大変になると思いました。私は子育てと聞くと子どもの世話をするという印象が1番にありました。しかし、実際では子どもの世話をするだけでなく、家事や仕事を両立してやらなければならないため、想像より大変だと感じました。体験では1日だけだが、お母さんお父さんは毎日の事なので、子育てを行うお母さんお父さんはすごいと改めて尊敬しました。この事業で学んだことを将来、親になった時に活かせることができると感じました。
17	④家庭に訪問させて頂くことで実際に子育てをしている親からお話を頂き、とても貴重な経験が出来ると感じました。この活動を経験した後、アンケート結果からはポジティブでよかったというようなことが多かったことからこの活動は継続していき、1人でも多くの学生が経験すべきことだと思いました。また、経験したことによって子育ての知識が増え、少しでも子育てや結婚に対する不安は軽減されるのではないかと感じました。
18	この事業を踏まえて、実際に訪問した家庭の様子を知ることができるので、子育てをしていく上で、難しいことや大変なことであったり、楽しいことであったりなど、現実的に受け入れられると思いました。また、子育てにおけることだけではなく、夫婦同士の関係や、育児や家事の分担をどのように行なっているのかといった部分も知ることができて、自分が思っていた夫婦のカタチとはまた違う夫婦のカタチを見出せるのではないのかとも思いました。そして、将来どのような家庭を築いていきたいのかという自分の未来設計にもつながっていくのではないかと感じました。保護者の方に、自分が気になっていることをその保護者の実際の体験談に基づいて聞くことができるのでとても勉強になると思いました。保育者として働きたいと思っている学生からすれば、今までは、保育をする人の視点で考えることが多かったけれど、この事業を通して、家庭からの視点で見ることが出来るので、これから様々な視点で考えることへとつながるのではないかと感じました。

19	<p>実際に子どものいる家庭に訪問をして、子どもと遊んだり保護者と話をする経験ができるのは、新しい発見があり将来自分が結婚したときに役立つと感じました。</p> <p>また、普段の学校生活ではなかなか子どもと関わる機会が少ないので、少しでも関われる機会があるのは嬉しいと思いました。保護者と話す機会もあり、子育てや子どもについて聞くことができ、保育者とは違った視点を聞くことができるのではないかと感じました。</p> <p>そして、自分が結婚したときや子どもを産んだときに対する不安が和らいたり、結婚願望がない人でも少しは興味をもてたりしていたので、様々な学生が経験できたらいいのではないかと思った。</p> <p>学校では学べない家庭でのリアルな意見や様子を見ることができるので私も経験してみたいと思いました。</p>
20	<p>保育者になるための実習とは違って自分の子どもを育てているパパやママからの話を聞けることはとてもいい機会だと思いました。子どもを産んでからしか分からないことや今不安に思っていることも前もって聞けるのは将来自分子どもを産んだ時に思い返せる良い経験になると感じました。会ったことのないパパやママの家で見守られながら子どもと一緒に遊んだり話を聞いたりすることは少し抵抗がありますが、動画を見ているとどこのご家庭もとても優しくそうで機会があればぜひ参加してみたいと思いました。</p>
21	<p>学生のうちから子育てのことを学べる機会はとてもいい事だと思います。普段お母さんやお父さんはどのようなことをして子育てをしているのかなどを身を感じる事が出来たら今後の自分の人生に大きな影響も与えるし、周りの人との関わりも増えていいと思います。</p> <p>しかし、今はコロナ禍ということもありませんがなかなかこのような機会がなかったり活動することが難しかったりするので自分で調べて見たり興味を持つことがとても大切だと思いました。</p>
22	<p>このような活動があるのは初めて知りました。私も大学に入る前から将来幼稚園教諭として働こうとは考えていたけど、実際に大学生になったからといって子どもと関わる機会が増えるわけではありませんでした。実習以外で子どもと関わる機会がないまま、社会人一年目で急に子どもと毎日関わることになるのには不安に感じたので、私は3年生になって保育所でアルバイトを始めただけで、このような活動が今もあつたらアルバイトではなくこの活動に参加していたかもしれないと思うほどとても魅力的な活動でした。子育ての実情を知ることができるのと同時に、子どもと触れ合うことで子ども発達についても学ぶことができる活動だと思います。自分の親から聞く子育て感、どうしても20年ほど前のものになってしまいます。だからと言って、今の子育てについてのことを知ろうとしてもなかなか実際に話を聞くのは難しく、教科書やネットの情報だけが知識として得がちです。しかし、実際今子育てをしている方々に会うことで保護者や今子育て世代である方の生の声をたくさん聴くことができるので、将来保育の道で働くうえでもよい経験となると、この事業の概要を見て感じました。</p>
23	<p>「1日パパママ体験事業」では、現役のパパ・ママのリアルな声を聞く事ができる貴重な体験だということがわかった。</p> <p>体験をさせて頂けることによって、結婚・出産・子育て・家庭と仕事との両立など今まで自分自身が考える事しか出来なかったことが、このパパママ体験を通して直接お話を聞いて想像を膨らまし、子育てについてより深く考えることが出来るのですごく良い体験だと感じた。</p> <p>また、普段子どもと関わる機会が少なく、現場体験や実習など保育現場での子どもの姿をみることは出来ても、家庭での子どもの姿を見ることが出来なかった。この体験を通して家庭で過ごす子どもの姿や親子間の様子を知り学ぶことができる所も魅力を感じた。</p> <p>座談会の内容を見て、兄弟の年齢の差で遊びの内容が異なり順番性で遊んだということを知り、保育現場では体験出来ないことなので遊びについて考えることができると感じた。</p> <p>子育てに対する楽しさや喜び、苦しさなど生の声で聞くことができ、子育てについてより深く学ぶこと出来るので私も体験をしたいと感じた。</p>

24	<p>こんな体験できる事業があるのだと初めて知りました。私は大阪出身なので全く分からなかったし、こんな事業があったら絶対に参加したい！と強く思いました。私自身、結婚したい！子どもが欲しい！と考えていますが、本当に今あるご家庭ではどのような感じでどのように夫婦で活動されているのかわからないし、理想と現実とでは違う部分もあるので私も体験をしてみて、考えていきたいです。また、おもちゃを自分で選ぶなんて子どもが生まれるまでできない体験を、この年齢で体験できるなんてすごく貴重なことで、こんなにいい体験ができるのは是非参加してみたいと思いました。もっと、子どもと関わるにも、関わり方など方法がたくさんあると思うので自分就職や、将来のことを考えて前向きに考えていきたいです。</p>
25	<p>一日中パパ・ママ事業があることを知り、最近核家族が増え地域との交流も少ない中で初めての子育てで不安だったりする中で、学生の時に実際のご家庭の様子を見させていただける機会があることは自分の将来の姿を想像しやすく、結婚や出産に対して肯定的な考えになる大切なものと思った。家庭での取り組みは接し方が違う中で実際に子育てをされてどのようなところが困難だったかなど声を聞ける場所というのがなかなかない為とても良いと思いました。</p> <p>今回は女子大学生のみだったけど、結婚と出産になると男性にも協力的になってもらえないといけないためもっとこの活動を広めて教育学部の大学生だけでなく、その他の大学生にも参加してもらえるようにする事により、よりこの事業の価値が上がるのではないかと思った。</p>
26	<p>施設に来ていただき子育ての話聞くなどという取り組みは聞いたことがあり、我が大学でもありますが、ご家庭にお邪魔して子育て体験させていただくのは初めて耳にしました。とても楽しそうで濃い一日となり勉強になること間違いなしの活動で素敵でした。</p>
27	<p>家庭での子育ての様子を垣間見る。保護者から子育てのリアルな喜びや大変さについて聞くこと、また子どもと遊ぶことなどから子育てというものを体験できる事業は素敵だなと感じました。体験を通じて、ライフプランを考えたり、保育者・教育者として経験を生かすことができるのではないかと感じました。また、子どもと大学生、大学生と地域の保護者のつながりができることで新たな発見、新たな視点をそれぞれが得ることができる事業だと感じました。</p>
28	<p>一日パパママ体験事業を知り私もしてみたいと思いました。保育者を目指しているのでこのような体験は貴重だなと思った。保育者になった時子どもが家庭ではどのように過ごしているのかが知れ、子どもにとってより良い関わりが出来るなと思いました。又、一日の短い体験ですが、パパママ体験をすることで少しでも保護者の気持ちにも寄り添えるなと思いました。</p> <p>育児へのイメージが良い方向へ変わった方やそうでなかった方もいましたが、各家庭によって子育ては様々なことが分かりました。</p> <p>このように地域には沢山の種類の事業が分かりました。保育者になった時にそれぞれの家庭にあった事業が紹介できたり、自分が子育てする時には利用したいと思いました。</p>

29	<p>①子育て支援の実情としてたくさんの機関が連携出来るように設定されていて、子どもだけでなく保護者に対してや、家庭全体への支援があることがわかりました。私が惹かれたのは埼玉県の和光市の事業でした。結婚して妊娠から出産、子育てなど不安な期間を助けてくれるのはすごく心強いことですし、もし、自分の親と離れたところで子育てをしないと行けない場合頼ることができる場所があるっというのはとても安心できるなと思いました。</p> <p>④パパママ体験はすごくいいものだと思います。私たちも保育者になろうとしている学生として、子どもと触れ合う機会が多いことは経験に繋がるし自信を持てると思います。実習などありますが、学生として出来ることが少ないこともあったり、家庭の中で過ごしている様子や園生活とは違うと思うので、違う見方ができるのではないかなと思いました。私たちは女性として必ずと言って良いほど子育てをする機会があると思うので、本当に何も分からないことの方が多いいと思いますし、思い通りに行かない方が多いとは思いますが、少しでもこういう風にしてると言うことを知っているだけでも違うのかなと思いました。保育者として他の人の子どもを見る大人と我が子を育てる大人との違いもあるかもしれないので、この体験はおもしろいなと思いました。</p>
30	<p>今回の講義でこの一日パパママ体験事業について知りました。普段はあまり子どもと関わる機会もなく、大学での座学から子育てやその支援について学ぶことがほとんどなので、実際の家庭での子育ては漠然としたイメージしか持つことができません。そのため、こういった実際の家庭を訪問して体験することができる機会はとても貴重で有益であると感じました。実際に体験した学生の方の話にもあるように、この経験を通して、結婚や子育てに対する考えが変わったり、将来への展望も広がったりすると思いました。</p> <p>もっとこのような事業が増えることで、これからの社会を担う私たちの未来が少しでも明るくなると思います。</p>
31	<p>子育てを一日中体験することで子育てに対する不安や考え方見方が変わり、とてもプラスなことが多いと思えた。家庭を訪問することで大学生もママさんも両方とも役に立ち、楽しめると感じた。おもちゃ代や活動費を事務局から支給されることで気軽に行きやすいと思った。結婚に関することに対して前向きになれることは、プラスになると思った。</p>
32	<p>動画にて「一日パパママ体験事業」を見た時は、本当にこんなことがあるんだ！というのが率直な感想でした。実際自分も結婚や子どもには前向きではありません。実は、この学科に来て勉強していますが、子どももそこまで好きだとは思っていません。そこには、育てられるか、子どもとの接し方や責任があると思いき重く考えていたのもありました。でも、このような活動で一日でも体験することは何が大変で何を怖がっていたのかというのがはっきりわかる気がしました。更に結婚に関するイメージが良くなったことなど、結婚＝子ども＝子育てという関係がまだまだ根強い現在であるからその結果なのだろうとも感じました。インタビューされている学生にも結婚に前向きな印象ではないと答えている人も、この体験は有意義なものであったとしている。このことから、自分もこういう体験を受けられたら、結婚や子どもへの印象も変わって好きになれるかもしれないと感じました。</p>
33	<p>とても興味深い取り組みでした。保育体験なら実習で体験できますが、子育てとなると本当に貴重な体験になると思います。それぞれの家庭の様子を知れたり、子ども同士や夫婦関係などよりリアルに見られるとても良い体験だと思いました。また、異年齢保育のように年齢が離れた子ども達の遊びや興味があるもの、ないものを知れるいい機会になると思います。本当に素敵な体験なものだと思います。</p>
34	<p>私も子育てについて「しんどくて大変」のイメージが染み付いていたので楽しそうに子育てをしている姿、そして「大変なことは特に見当たらない」と答えている母親に驚きました。悪いイメージだけが先走ってしまい、マイナスなイメージしかなかったのであまりよくないことだと自分自身で感じました。</p>

35	大学生が実際に体験できるというのはとてもいいなと思いました。保育を学んでいる私たちから見える視点であったり、結婚しておらず子どももない視点からみるというのは、ものの捉え方や感じ方、考え方が大きく変わってくると思うので、やってみたいと思いました。この事業が拡大すれば、若者の結婚観や子どもへの考え方が変わり、少子化を防ぐきっかけにもなるのではと感じました。今の私たちには実際に子どもと関わる機会も少なく、実習に行ったときは、園側から子どもたちを見ますが、この事業は、家庭側から子どもを見ることができるので、保育者になるにあたって、参加必須にしてもいいくらいの内容だと感じました。
----	--